

# 夢しゅーなる

Vol.

31

阪神北地域ビジョン委員会だより

伊丹・宝塚・川西・三田・猪名川 4市1町



多世代交流「じばヤング」グループ



阪北NPOネットグループ



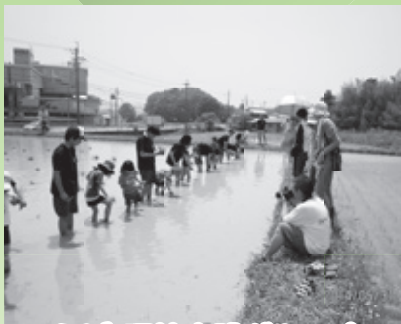
ふれあいと夢の「わ」グループ



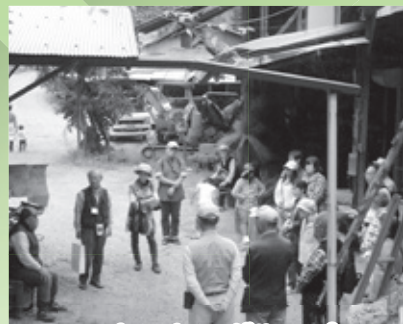
輝け・次世代・阪神北グループ



里山・里川を体験し考える(里山・里川グループ)



らほ・環境実践グループ



であいたいグループ



ハッピービジョングループ

## 目次

|                                      |     |
|--------------------------------------|-----|
| ◆ 2年間をふりかえって・<br>専門委員メッセージ・県民局長メッセージ | 2   |
| ◆ グループ活動報告                           | 3~6 |
| ◆ 阪神北地域夢会議の開催・全体活動年表                 | 7   |
| ◆ 阪神北地域ビジョン委員等名簿 ほか                  | 8   |

## 2年間をふりかえって



第7期阪神北地域ビジョン委員会は「阪神市民文化社会ビジョン」の下、4つの行動目標実現のため、全体活動と分野別グループ活動（内容は別ページで紹介）に分け活動してまいりました。

全体活動は、企画調整部会を中心に「地域魅力発見研修」「他地域ビジョン委員会との交流会」「阪神北地域夢会議」「地域見本市」「全体会」を行いました。

地域魅力発見研修は、宝塚市西谷地区のグリア栽培（佐曾利）、松尾湿原（宝塚自然の家）、三田市の県立人と自然の博物館、丹波市青垣の神楽（しぐら）の郷などを訪問しました。県立人と自然の博物館では、江戸時代の古文書（各所図会）を通じ時代の流れを知ることができました。また、神楽の郷では神楽自治振興会の理事長から地域の現状や村興し策を伺い、過疎化が進む地域の課題・取り組みを知ることができました。

他地域ビジョン委員会との交流会は、阪神南地域ビジョン委員会、丹波地域ビジョン委員会と交流会を行いました。阪神南との交流会では行動目標が共通していることから分野ごとに分かれ意見交換会を行いました。丹波との交流会は、地域魅力発見研修との併催でしたが都会地と都会に近い田舎の立場の違いを知

る機会となりました。

阪神北地域夢会議は、実行委員会を立ち上げ、「みんなで語ろう！魅力ある阪神北地域づくり（平成26年度）」「住みたい“まち”はどんな“まち”（平成27年度）」をテーマに各地から高校生、大学生をはじめ外国人の参加もあり、積極的な意見交換が行われ、私たちが住んでいるまちについて新しい目で見つめ直す機会となりました。

地域見本市は、阪神北地域全体の文化祭的イベントで実行委員会を立ち上げ、4市1町の協力を得て、猪名川町（平成26年度）、三田市（平成27年度）で開催しました。見本市を通じ地域の人々との交流、ビジョン委員会活動を広く知って頂くことができました。

全体会は、毎年度末ビジョン委員による活動の総括と委員同士の交流を目的に開催しました。

これからも阪神北地域の自然・歴史・文化を育み、特色を活かしながら、安全で安心して暮らせる地域社会の実現をめざし努力してまいります。

今後ともビジョン委員会へのご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

第7期阪神北地域ビジョン委員会委員長 八木下 榮一

## 専門委員メッセージ

大手前大学 現代社会学部 教授 芳田 茂樹

第1分野のみなさんは、多世代交流や昔あそびを通して世代間や異文化間の“つながり”の大切さを行動で示されたと思います。『（他者から）干渉されたくないが、つながってほしい』という子どもたちが増えている中で、“face to face”の関わりを一貫して続けられていることは、青少年の健全育成に大いに寄与していると思います。この経験がさらに今後の活動に活かされることを楽しみにしています。



兵庫県立人と自然の博物館 研究員 上田 萌子

第7期の2年間にわたる活動お疲れ様でした。阪神北の特色を活かした魅力的な地域づくりに向け、今期も各グループが活発に活動されたことと思います。また、グループ同士の交流や議論が、よい刺激や発見の機会となったのではないのでしょうか。今期の成果や課題が、今後の地域活動に活かされるとともに、次期ビジョン委員会の発展につながることを祈念しています。



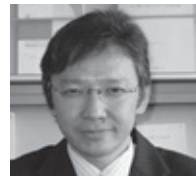
関西学院大学大学院 総合政策研究科 教授 今井 一郎

歴史的に見ても、阪神北地域の住民社会は身の回りに広がる自然を慈しみ、その恩恵に浴して暮らしを営んできました。それは、経済的利益だけを期待して実践されたことではなく、真の意味のアメニティを追及してきたからに他なりません。今期ビジョン委員会での活動と成果が、今後皆さまの地域活動に役立てばうれしく思います。



神戸国際大学 経済学部 教授 滋野 英憲

第4グループの皆様は、阪神北地域における隠れた名所（道の駅など）の発掘や食を中核とするイベントなどに取り組み、地域のポテンシャルを知り地域の方々に紹介し、より多くの人々が交流する機会を提供されてきたと思います。皆様の活動が各地域へと広がり、阪神北地域に経済的豊さが創成されますことを祈念しています。第7期のビジョン委員の皆様、本当にご苦労さまでした。皆様の今後のさらなるご活躍を期待しています。



## 県民局長メッセージ

第7期阪神北地域ビジョン委員の皆様、2年間の活動お疲れ様でした。

皆様方には、地域の将来像を描いた「阪神市民文化社会ビジョン」の普及啓発やその実現に向け、グループによる実践活動を積極的に進めていただきますとともに、「地域見本市」や「地域夢会議」などの行事でも中心となって活動していただきました。心からお礼申し上げます。皆様が、ここでの経験を活かし、それぞれの地域において、さらなるご活躍をされることを期待しております。そして、またどこかで、お目にかかれる日を楽しみにしております。



阪神北県民局長 多木 和重



## 多世代交流グループ“じばヤング”

### 活動目標

地域活動の“世話焼き”の育成と  
多世代交流の場“昔あそび”の実施

### 活動内容

核家族、共働き世帯が増加する中、地域で子どもを見守ることが必要になりました。地域を昔の大家族のような多世代交流の場とするため、地域のイベントで「昔の遊び」を企画実践し、同時に、若い親世代に交流のツールとして「昔の遊び」を伝承してきました。

また、若者との交流の場として、毎年1回大手前大学の学生とテーマを決めて話し合う「語る会」を開催しました。



### 第7期の活動を振り返って

メンバーは5名、全員第6期からの継続でした。気心が知れていた分、活動はスムーズに、又、大変有効に実施できました。語る会での学生との会話で若さを頂き、子どもと一緒におもちゃを作ったり、遊んだり、童心に帰る楽しい4年間でした。恒例の活動の他に、その年特有の活動が加わりましたが、すべて阿吽の呼吸で準備をし、実施してきました。最後に阪北NPOネットとコラボ活動が出来たことも特筆すべきことです。しかし、活動の広がりの方は少し反省するところです。もっと異なる世代との語る会の実施、いろいろな地域での遊びの広場の開催等、今後の課題です。第8期に引継いでいただける方が現れることを期待し、メンバーがこれからも地域で活躍されることを祈っています。



## 阪北NPOネット

### 活動目標

NPO法人など団体同士のネットワーク形成を目的に、  
「場」づくりや人・情報の流通活性など、NPOの“見える化”を図って活動しています。

### 活動内容

管内の「中間支援NPO法人」などに所属するメンバーで構成されている当グループは、平成27年11月7日の「地域見本市」において、塩見直紀さん（「半農半X研究所」代表・総務省地域力創造アドバイザー）を講師にお招きして「みんなの「X=天職」を活かすまちづくり」講座&ワークショップを実施したほか、平成28年2月11日には、「じばヤング」と共催して、「インターネットを使って親子でお孫さんとバーチャル旅行計画を立てよう!」を実施しました。

### 第7期の活動を振り返って

阪神北地域では、管内の4つの「中間支援NPO法人」が、それぞれに県からの委託事業などを実施するにあたり、県民局職員の方々も一緒になった「連絡会議」を持つなどして「協働のネットワーク」を築いてきました。これは、平成21年度から5年間続いてきました。その「ネットワーク」を活かすべく、平成26年度からは「中間支援NPO法人」のメンバーそれぞれがビジョン委員となり、「つなぎ役」の立ち位置で「場づくり」や「NPO活動の見える化」を図ってきました。ビジョン委員会において「中間支援」の意味や意義を伝えることは容易ではありませんでしたが、今期で一定の役割は果たしたのではないかと考えます。



## ふれあいと夢の「わ」

### 活動目標

温かいコミュニティづくりをめざして地域のイベント作りをお手伝い

### 活動内容および第7期の活動を振り返って

平成26年4月に発足した第7期ビジョン委員会で、第6期からの継続メンバーに新たに1名が参加され9名でスタートしました。

私たちは「温かいコミュニティづくり」という活動目標で各地域に①地域の祭り、イベントへ出展、②親子のふれあいイベント提供、③各地域のデイサービス・老人ホーム等への個別レクリエーションの提供を、それぞれのご希望に合わせた内容で提供してきました。

特に6期の期末からメンバーの地域への声かけにより始まったデイサービス等へのレクリエーションの提供は、ご利用者様と一緒に作る工作・手芸が提供先様から大変喜ばれ、7期になって2市1町・5施設の提供となりました。また、子ども・親子のふれあいで小学校・PTAの方と共にペットボトルロケット飛ばし、紙飛行機作りを3小学校で行いました。2年間を通し16カ所・98件、延べ参加2633名となりました。9名のメンバーは、それぞれ忙しい中で努力とチームワークでこれらのことが出来ました。活動をすることにより、人とのふれあいが感じられ、自分たちも満足感・喜びを感じることが出来ました。今後もメンバーの親交を続けていき、また、引き続きお声がかかる限り出来るだけ活動を続けて行こうと考えています。



## 輝け・次世代・阪神北

### 活動目標

次世代を担う子どもたちの健全育成に全力投球「輝け・次世代・阪神北」

### 活動内容

私たちのグループ6名は、「青少年の健全育成」「子育て支援」「災害に強い街づくり」「障がい者に優しい社会へ」の4部門で活動してきました。それぞれ4つのテーマに分かれ協力して成果を上げられるように最大限の努力をしてきました。

### 第7期の活動を振り返って

第7期ビジョン委員会で、内容の違う4つのテーマで情報交換し互いに協力しながら活動する、我が「輝け・次世代・阪神北グループ」が誕生しました。これは今迄にない初めての試みです。グループ内での協議の結果、それぞれの受け持ちテーマごとに年間2回イベント企画し、実行したテーマごとに報告・会計処理など責任をもって行いました。

1年目は「青少年健全育成」のテーマで“たばこの害から子どもたちを守る講演”“ドラッグは危険という講演”を数回、また「災害に強い街づくり」をテーマに“防災訓練”を行ないました。しかし、全てのテーマで活動する事が出来ませんでした。

2年目ではようやく他の団体とも協力し、セミナーや“輝き！三田！Springフェスタ”など4つのテーマを併せ持ったイベントを開催する事が出来ました。現代社会にとって問題視されたテーマであった為、有効な活動であったと思います。しかし、今後は多くのテーマで活動するより1つのグループが1つのテーマを目標に活動すべきではないかと思えます。





## 里山・里川を体験し考える(里山・里川グループ)

### 活動目標

自然体験、環境学習等を組み合わせ、エコツアーを企画・実践する

### 活動内容

「①地域の自然環境や歴史・文化を体験し学ぶとともに、②その保全に責任を持つ観光」と定義されるエコツアーを企画し、地域の魅力をより深く知る機会を提供しました。年2回の頻度で4回のツアーを企画し、第1回は雨天中止でしたが、残り3回ではそれぞれ15～20名の参加を得ました。

内容としては、宝塚自然の家での講演、植物観察、河川水質測定(第2回:平成27年1月)、丸山・松尾湿原での環境学習、太陽光発電施設見学(第3回:平成27年6月)、宿場町小浜地区の歴史・文化学習、湧水水質比較、茶道体験(第4回:平成27年11月)などで、第2、第3回では地産地消を考えるために地元産ジビエ料理、野菜料理を用意しました。

### 第7期の活動を振り返って

全体を振り返って、エコツアーの目的①については参加者にその機会を概ね提供できたと判断されます。また、講師依頼や地産料理の選択を通して地域経済への多少の貢献を行いました。しかし、1日限りの単発的なエコツアーでは、②に関わる機会を提供することは難しく、大きな課題と言えます。活動経験を踏まえ、メンバーからは「体験を地域創生活動につなげたい」、「居住地区をより知る機会になった。清流保全を進めたい」等、前向きな意見が出されています。



## らぼ・環境実践

### 活動目標

こちよい環境と空間を創造し、人と交流しましょう

### 活動内容

ごみ減量など環境問題をテーマに各地域で啓発活動を実施しました。

ダンボールコンポストによる生ごみの堆肥活動や、堆肥を使って育てたもち米による餅つき大会を開催しました。

また、三世代による地域活動として、世界田植え選手権、世界稲刈り選手権を開催しました。

地球にやさしい方法として、阪神間内で回収した枯れ葉を使った堆肥づくりの実践、啓発活動を行いました。

若い人が集まる都市部の親子を自然豊かな農村に招き、心地よい空間を体験していただきました。

### 第7期の活動を振り返って

らぼグループの活動には、多くの人に参加して頂き、無事7期での活動を終了しました。

全てのイベントは、天候、参加者に恵まれ、一度も中止無しで開催出来ました。多くの皆さんに参加して頂きありがとうございました。ビジョン委員会での活動は今限りとなりますが、今後は、チーム「らぼ」として世界田植え選手権、夢フェスタ等の開催を展開していきたいと思っています。



## であいたい

### 活動目標

阪神北地域の自然と文化、歴史を掘起こし地域の活性化に寄与する

### 活動内容

第7期当初の計画どおり、阪神北地域4市1町の訪問に向け、平成27年11月以降、残された地域を訪ねました。

- ◆11月28日 三田「三田の名刹を訪ねて」白洲次郎の命日に合わせ、心月院の拝観と川本幸民ゆかりの地を訪ねる
- ◆3月21日 伊丹「有岡城跡/田能遺跡とスカイパークを歩く」この結果、全エリアでの開催は延べ7回となりました。

### 第7期の活動を振り返って

「であいたいグループ」は6期からの継承で実施しましたが、初年度は前半、グループ目標に沿ってエリア内の資源の洗い出しや特徴の検証に費やしました。道の駅を研究テーマに決め、訪問調査と地域での役割を研究しました。

後半、年次活動計画の作成により、各メンバーの担当を決め実践に入りました。

2年目は、活動計画に沿って4市1町の代表的な自然、文化、歴史を網羅したコースを設定実施し7回延べ200名の参加を得ることが出来、地域の素晴らしい自然や文化、歴史を体感頂くことができました。

この活動により、参加者とのネットワークや阪神南ビジョン委員会との交流も出来ました。更に、今後の活動も地域の拡大、切り口を変えることで、奥行きを深めることが出来ると確信しました。

8期にも、是非とも継承して頂きたいと希望します。



## ハッピービジョン

### 活動目標

食は絆 — おいしく・楽しく・いきいきと

### 活動内容

“食は絆”をテーマに、地域での各種イベントや地域おこし行事等に、阪神北地域の「作った人の顔が見えるような食材」を取り入れてPRしました。

伊丹市、宝塚市の公共施設の調理実習室や集会場で地元農産物、加工食品を使った「手軽に作れる今日の一品」の料理提案を4回実施しました。

各種IT情報の活用を解りやすくアドバイスする研修会を実施しました。

平成26年度の地域見本市では、IT・情報活用についてパネル展示をし、グループ活動のPRをしました。

地域で生活している大手前、園田学園、甲子園、武庫川女子大学の外国人留学生を対象に、「手打ちそばとおにぎりを作って食べる会」を2回実施し、“世界無形文化遺産の和食”をPRしました。

### 第7期の活動を振り返って

ハッピービジョングループとして幾多の試行錯誤を重ねながら2年間の委員活動を終えるにあたり、「地域の元気づくりにちょっとでもお役に立っただろうか?」「メンバーの持つ技量・技能・特技(Skill)を発揮しただろうか?」の思いです。英和辞典でVisionを引くと、「視野、見通す力、未来図…」といったような訳がでてきます。阪神北地域の元気作りを心に描き、これからも「どんなに小さな事、動きであっても根気よく続けていくことがビジョン実現の道…」と改めて感じています。





# 阪神北地域夢会議の開催

- テーマ** 住みたい“まち”はどんな“まち”
- 開催日** 平成28年2月21日(日) 13時～16時
- 場所** 宝塚市立東公民館 91名参加
- 内容** 今年度の夢会議は、「これからも住み続けたい」と考える住民の割合が県内でもトップクラスの阪神北地域にふさわしく、自分たちの“まち”を考えるテーマで開催しました。

今年度の夢会議は、「これからも住み続けたい」と考える住民の割合が県内でもトップクラスの阪神北地域にふさわしく、自分たちの“まち”を考えるテーマで開催しました。

八木下委員長の挨拶の後、「阪神市民文化ビジョン」の4つのサブテーマ別に80分間にわたり熱心な意見交換が行われました。今回の会議の最大の特徴は、在住外国人と地域の大学生の参加を得たことです。外国人と大



学生の皆さんが参加したことで、国による受け止め方の違いや若者の見方が浮き彫りになり、各グループの議論が大いに深まりました。

その成果は全体会で報告されましたが、各グループ3分間という短いプレゼンテーションにもかかわらずわかりやすくまとめられており、4名の専門委員の先生方からも議論の内容を評価するコメントが出されました。最後に金澤副知事による講評が華を添え、新しい試みによる今年度の夢会議が成功裏に終了しました。



## 全体活動年表

### 主なイベント

| 開催日            | 開催場所                   | 開催概要  |
|----------------|------------------------|---|
| 平成26年4月26日     | アピアホール<br>(宝塚市)        | 第1回全体会の開催<br>・委嘱状の交付、委員長の選出等                                  |
| 平成26年5月10日～11日 | 阪神北県民局<br>(宝塚市)        | 分野別会議の開催<br>・7期の実践活動の方向性の議論                                   |
| 平成26年5月25日     | 阪神北県民局<br>(宝塚市)        | 第2回全体会の開催<br>・実践活動グループの編成                                     |
| 平成26年10月2日     | 阪神北地域<br>(宝塚市、三田市)     | 第1回地域魅力発見研修の開催<br>・行先:佐曽利ダリア園、松尾湿原、新宮晋風のミュージアム、<br>県立人と自然の博物館 |
| 平成26年10月19日    | 日生中央人の広場<br>(猪名川町)     | 地域見本市の開催<br>・テーマ「かがやく阪神北!つながる心とひろがる絆」                         |
| 平成27年2月21日     | いたみホール<br>(伊丹市)        | 阪神北地域夢会議の開催<br>・テーマ「みんなで語ろう!魅力ある阪神北地域づくり」                     |
| 平成27年3月7日      | ぶらざこむ1<br>(宝塚市)        | 第3回全体会の開催<br>・全実践活動グループの活動報告                                  |
| 平成27年7月14日     | 阪神北県民局<br>(宝塚市)        | 南北交流会の開催<br>・阪神南地域ビジョン委員会と交流                                  |
| 平成27年10月14日    | 丹波地域<br>(丹波市)          | 第2回地域魅力発見研修の開催<br>・行先:丹波県民局(丹波地域ビジョン委員会と交流)、神楽の郷              |
| 平成27年11月7日     | 三田市総合福祉保健センター<br>(三田市) | 地域見本市の開催<br>・テーマ「かがやく阪神北!つながる心とひろがる絆 Part2」                   |
| 平成28年2月21日     | 宝塚市立東公民館<br>(宝塚市)      | 阪神北地域夢会議の開催<br>・テーマ「住みたい“まち”はどんな“まち”」                         |
| 平成28年3月26日     | ぶらざこむ1<br>(宝塚市)        | 第4回全体会の開催<br>・テーマ「ビジョン委員会活動を振り返っての思い」                         |

## 第7期 阪神北地域ビジョン委員名簿

### ①多世代交流“じばヤング”

【伊丹市】内堀 克子  
 【川西市】八木下 榮一  
 【三田市】藤村 晴彦（代表）  
 渡邊 倫子（副代表）  
 武田 幸郎

### ②阪北NPOネット

【伊丹市】東端 由加（副代表）  
 仲野 博正  
 【宝塚市】中山 光子、松尾 伸二  
 【川西市】三井ハルコ（代表）  
 大島 一晃、小柳 教子  
 【三田市】松野 玲子、山本 梨香

### ③ふれあいと夢の「わ」

【伊丹市】正岡 好郎（代表）  
 有賀 悦子（副代表）  
 木村 美恵子、正岡 妙子  
 【宝塚市】木原 久寿夫  
 【川西市】向井 陽子  
 【三田市】吉田 みち  
 【猪名川町】藤田 幸夫  
 【西宮市】西原 静雄

### ④輝け・次世代・阪神北

【宝塚市】細川 知子  
 【川西市】正林 由美恵（副代表）  
 藪内 玲子  
 【三田市】大月 勝（代表）  
 森下 正子

### ⑤里山・里川を体験し考える

【伊丹市】前田 良治  
 【宝塚市】井上 章（副代表）  
 塗家 昭彦、吉田 幸子  
 【猪名川町】後藤 憲明  
 【神戸市】古武家 善成（代表）

### ⑥らぼ・環境実践

【川西市】波多野 昭治（副代表）  
 【三田市】谷口 昭広（代表）  
 二口 力、山本 義則

### ⑦であいたい

【伊丹市】高見 治  
 【宝塚市】澤 貞次、宮崎 美穂、  
 森下 靖夫  
 【川西市】前田 俊彰（代表）  
 岡村 紘  
 【三田市】今北 のりよ（副代表）  
 【猪名川町】直井 秀公  
 【西宮市】沢野 明美  
 【池田市】浅田 信利（副代表）

### ⑧ハッピービジョン

【伊丹市】加藤 彰久（代表）  
 大山 智之  
 【宝塚市】宮脇 英明（副代表）  
 平野 浩太郎、松田 正像  
 【三田市】宝代地 まり子

【伊丹市】大森 保、小牧 六輔  
 百合 正徳  
 【宝塚市】坂本 新子、坂本 海優  
 山田 忠生  
 【三田市】仲田 かづみ  
 【猪名川町】川野 彰  
 【神戸市北区】新 日出夫

**役員** 委員長：八木下 榮一 副委員長：武田 幸郎、塗家 昭彦

**広報部会** 部長：内堀 克子 副部長：沢野 明美、森下 正子  
 部会員：木原 久寿夫、木村 恵美子、宝代地まり子、正岡 妙子、  
 山本 義則、山本 梨香、吉田 幸子

## 専門委員・アドバイザー・オブザーバー名簿

### 【専門委員】

芳田 茂樹 大手前大学 教授  
 上田 萌子 兵庫県立人と自然の博物館 研究員  
 今井 一郎 関西学院大学大学院 教授  
 滋野 英憲 神戸国際大学 教授

### 【アドバイザー】

中瀬 勲 兵庫県立人と自然の博物館 館長  
 西浦 道雄 兵庫県農業会議 副会長  
 中川 勝子 三田市いずみ会 顧問  
 住井 一代 第4期阪神北地域ビジョン委員会委員長

### 【オブザーバー】

池田 昌寛 伊丹市 政策室主幹  
 中村 智成 宝塚市 政策推進課長  
 志波 仁史 川西市 行政経営室主幹  
 井上 浩行 三田市 地域戦略室長  
 和泉 輝夫 猪名川町 企画財政課長

### 編集後記

第7期ビジョン委員会ではビジョンの普及・啓発に、広く県民の皆さまと協働して活動してきました。

分野別のグループ活動やビジョン委員全体での行事に取り組んできました。他地域ビジョン委員会と交流会も実施しました。それにより、活動が広がり深まりが感じられます。

原稿の執筆にご協力くださった方々、ありがとうございました。

すばらしい夢じゃーなる31号に編集出来たことを、嬉しく広報部員一同感謝しております。

2016年3月

発行： **阪神北地域ビジョン委員会**

HP [http://web.pref.hyogo.jp/area/n\\_hanshin/vision.html](http://web.pref.hyogo.jp/area/n_hanshin/vision.html)

(連絡先) 〒665-8567 宝塚市旭町 2-4-15  
 阪神北県民局 県民交流室 県民課  
 TEL 0797-83-3135 FAX 0797-86-4379